

# 「ギャップ分析」機能について

- **ギャップ分析**コマンドは、番号が連続している数値データについて、**番号の欠落の有無**を検出する機能です。

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ **ActiveData**

ヘルプ

集約 / ピボット 年齢調べ 統計値 シートの結合 シー  
 上位 / 下位アイテム 階層化 デジタル分析 ワ  
 重複チェック ギャップ サンプリング タグ

ActiveData分析コマンド ActiveDataワーク

D15

① 「ActiveData分析コマンド」グループ内の「ギャップ」をクリックします。

	A					G
	請求番号	請求日				数量
8	20006	2010/1/1	2010/2/27	10413	12	58
9	20007	2010/1/1	2010/1/23	10654	12	61
10	20008	2010/1/1	2010/1/26	10300	1	4
11	20009	2010/1/1	2010/2/21	10439	19	10
12	20010	2010/1/1				38

② 「ギャップ検出」ダイアログボックスが開きます。

ギャップ検出

分析対象列  
 請求番号

開始値: 20000  
 終了値: 24999  
 増分: 1

オプション  
 欠番のみ表示  
 欠番も含めてすべて表示

プレビュー  
 検出された請求番号

20000
20001
20002
20003
20004
20005
20006
20007
20008
20009
20010
20011
20012
20013
20014
20015
20016
20017
20018
20019

欠番項目

2件の欠番がありました。

プレビュー(P)  
 OK(O)  
 キャンセル(C)  
 設定(G)  
 ヘルプ(H)

分析対象となる**数値形式の列**を選択します。

分析を実行し、**結果をプレビュー  
グリッドに表示**します。

ギャップ検出

分析対象列  
請求番号

開始値: 20000  
終了値: 24999  
増分: 1

オプション

欠番のみ表示  
 欠番も含めてすべて表示

プレビュー

検出された	請求番号
	20000
	20001
	20002
	20003
	20004
	20005
	20006
	20007
	20008
	20009
	20010
	20011
	20012
	20013
	20014
	20015
	20016
	20017
	20018
	20019

欠番項目

2 件の欠番がありました。

プレビュー(P)  
OK(O)  
キャンセル(C)  
設定(G)  
ヘルプ(H)

**【欠番のみ表示】**

欠落している番号だけを表示します。

**【欠番も含めてすべて表示】**

すべてのデータを表示します。

「欠番のみを表示」を選択した場合  
の分析結果（イメージ）

	A	B
1	検出されたギャップ	請求番号
2	1 件欠番	番号: 20011
3	1 件欠番	番号: 20023
4		

「欠番も含めてすべて表示」を選択した場合  
の分析結果（イメージ）

	A	B
1	検出されたギャップ	請求番号
2		20000
3		20001
4		20002
5		20003
6		20004
7		20005
8		20006
9		20007
10		20008
11		20009
12		20010
13	欠番項目	20011
14		20012
15		20013
16		20014
17		20015
18		20016
19		20017
20		20018